

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”

ウイング フィールド

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F

TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312

ウイングフィールド公式サイト URL <http://www.wing-f.co.jp>

ウイングフィールド提携公演 第9回むりやり堺筋線演劇祭

作・演出/田辺 剛

旅劇

「渴いた蜃気楼」

7/7(金) 8:00 出演/下鴨車窓
 8(土) 1:00☆ ☆終演後トークイベントあり
 5:00☆
 9(日) 1:00 8日(土) 1:00 中村賢司(空の驛舎)
 8日(土) 5:00 橋本匡市(万博設計)

料金/一般 2,500円
 ペアチケット 4,300円
 ユース(25歳以下) 1,800円(要証明証)

ウイングフィールド提携公演 第9回むりやり堺筋線演劇祭

脚本/皆川あゆみ(南河内万歳一座)

旅劇

演出/前田晃男

14(金) 7:30
 15(土) 2:00
 6:00
 16(日) 1:00
 5:00
 17(月・祝) 2:00

「お酢をのんだけど、やわらかくならなかった」

出演/ボラ☆ボラ

料金/一般前売 2,800円 一般当日 3,000円
 学割 2,300円(要学生証)
 学生3人割 3名で6,000円(要学生証)

2017 HPF (大阪高校演劇祭)

主催/HPF実行委員会 大阪府高等学校演劇連盟

共催/助一心寺文化事業財団

シアトリカル應典院、一心寺シアター倶楽と3会場にて開催

開催期間 7月21日(金)~7月31日(月)

カンパ券 中・高生 500円 一般 1,000円

第19回関西現代演劇俳優賞(3)

九鬼 葉子

女優賞の得田晃子は、虚空旅団の「誰故草」の向井ミキ役。徴兵と除染で男達が姿を消し、女達の体は蝕まれる。絶望的な世界で、機嫌よくおしゃべりし、笑顔で食事を楽しむミキ。無理をして明るく振舞っているのだろうが、屈折はあえて表に出さなかった。そのほうが戯曲の本質を捉えている。しっかりと「生活」して見せることで、戦争を起こした権力者達に抵抗を試みているのだ。その彼女が、抑えていた思いを最後に爆発させる。何も告げずに国から逃亡を図ろうとしていた妹を、追いかける場面。今、世界はどこに向かおうとしているのか。この一瞬の演技にすべてを込めた。いい匂いのするかわいらしい女の子の、劇的豹変。問題の大きさが伝わった。

女優賞の烏丸ストロークロックの阪本麻紀は「国道、業火、背高泡立草」の伊織役。経済に絡め取られた日本の現状を、小さな町を舞台に、顕微鏡で見詰めるように捉えた芝居。その「顕微鏡」の中心にいた、閉塞状況を象徴するような女。このままこの町にいても、自分に未来はない。脱出するために、旧知の男を誘惑し、残酷な囁きをする。阪本の演じる女性像には、いつも生活する女の臭いがある。一般的概念で考えると、決して人から正しいと褒めてもらえる生き方をしているわけではなく、この人なりに必死で生きている、という生活感が伝わり、説得力がある。

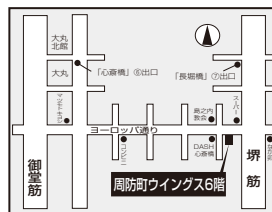
汚れ役でも、見ている方が共感できる。

女優賞候補の小椋あずきは、リリパットアミー30周年記念公演「天獄界~哀しき金糸鳥」で、大杉栄と伊藤野枝の末娘・留意子を演じた。国家転覆を企てたアナキストの子として隠れるように育ち、「世界で一番強い女になりたい」という気持ちが芽生える。赤ん坊時代のコミカルで奔放な表現に始まり、多感な思春期、そして両親を殺した甘粕正彦への復讐心を隠して女中として仕える、聡明な成人女性に成長する過程をきめ細かく描写。

女優賞候補のエイチエムピー・シアターカンパニーの高安美帆。「四谷怪談」の岩役では、幽霊となってから、生きていた時の抑圧感から解き放たれたかのように、意のままに振舞う。滑稽なほどに。民衆の怒りを象徴した、カタルシスのドラマとしての成功に貢献した。

男優賞候補の南河内万歳一座の河野洋一郎は、空晴の「ここも誰かの旅先」で、長年義姉を密かに慕う、50代の独身男・藤堂を演じた。関係を崩さないよう、生涯口にしない清い思いを、ラストの微笑に込めた。切ない余韻の残る終景。南河内万歳一座の「肥満男」では、同窓会に現れた、謎の中年男役。同級生役の鴨鈴女とともに、鮮烈な登場場面から観客を大いに沸かせる。台詞の一言一言が最も立つ台詞回しと間合い。大胆な動き。ベテランの貫録だった。(敬称略)

(演劇評論家、大阪芸大短期大学部准教授)



次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。

す おう まち
周防町ウイングス